

WAP125またはWAP581アクセスポイントでのIPv4またはIPv6の設定

目的

WAP125またはWAP581アクセスポイントのローカルエリアネットワーク(LAN)設定ページでは、WAPがネットワークで使用する接続の種類(インターネットプロトコル(IP)アドレスやその他の設定など)を設定できます。

デバイスでIPを設定する必要があるのはなぜですか？

デバイスにIPを設定すると、インターフェイスが有効になり、それらのインターフェイスを介してネットワーク内のホストおよび他のデバイスと通信できるようになります。

この設定は、Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)サーバがDHCP経由または手動でIPアドレスを割り当てるのに役立ちます。デフォルトでは、WAPはブロードキャストを介してネットワーク情報を自動的に要求します。ネットワークにDHCPサーバがない場合、WAPはデフォルトのIPアドレスを使用します。WAPでスタティックIPアドレスを使用する場合は、IPアドレスおよびその他のネットワーク情報を手動で割り当てる必要があります。

インターネットプロトコルバージョン4(IPv4)は、ネットワーク上のホストを識別するために使用される一般的なIPアドレッシング形式であり、32ビット形式を使用します。インターネットプロトコルバージョン6(IPv6)は、IPv4形式を置き換えることを目的とした次世代のIPアドレス標準です。IPv6は、IPv4で使用された32ビットアドレッシングではなく、128ビットアドレッシングを使用することで、アドレス不足の問題を解決します。

このドキュメントの目的は、WAP581でIPv4またはIPv6を設定する方法を示すことです。

該当するデバイス

- WAP125
- WAP581

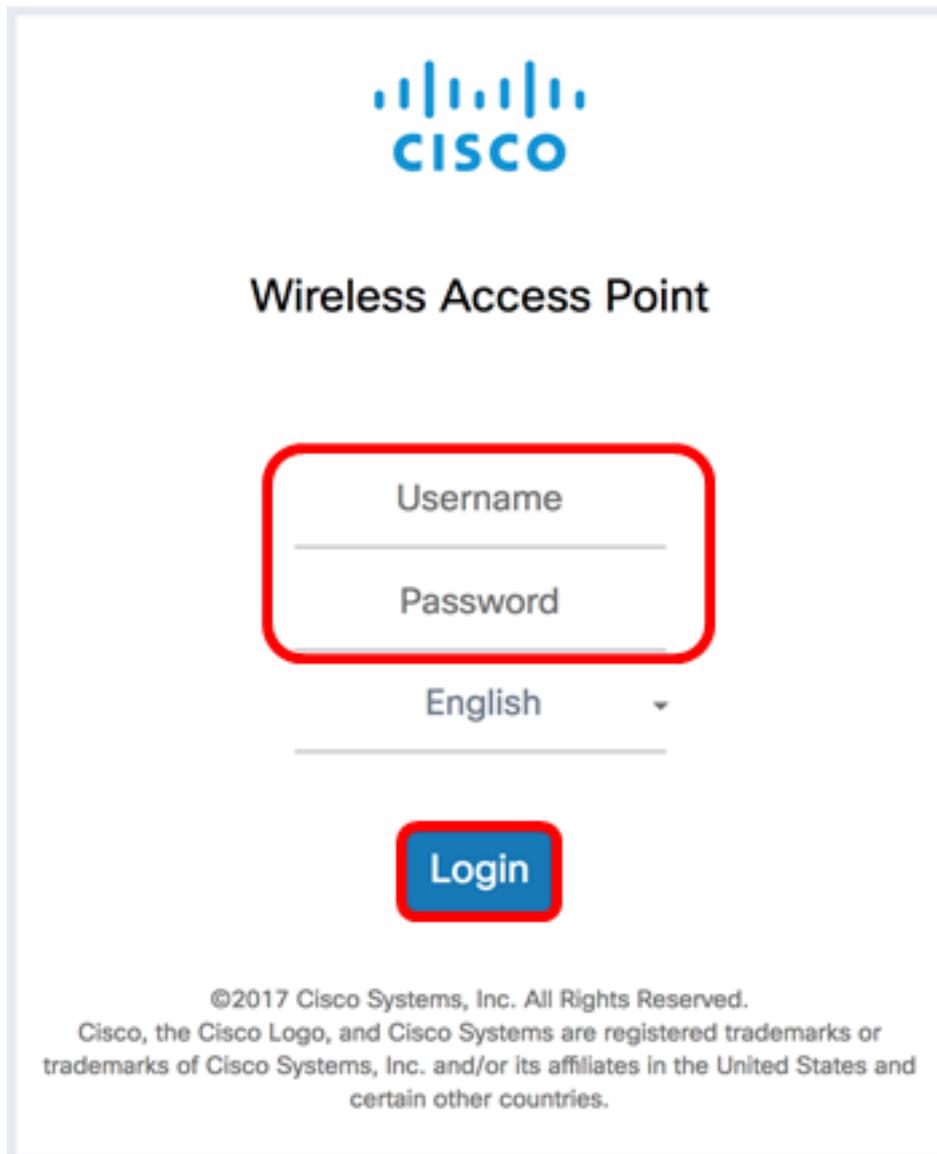
[Software Version]

- 1.0.0.5 — WAP125
- 1.0.0.4 — WAP581

IPv4またはIPv6の設定

IPv4の設定

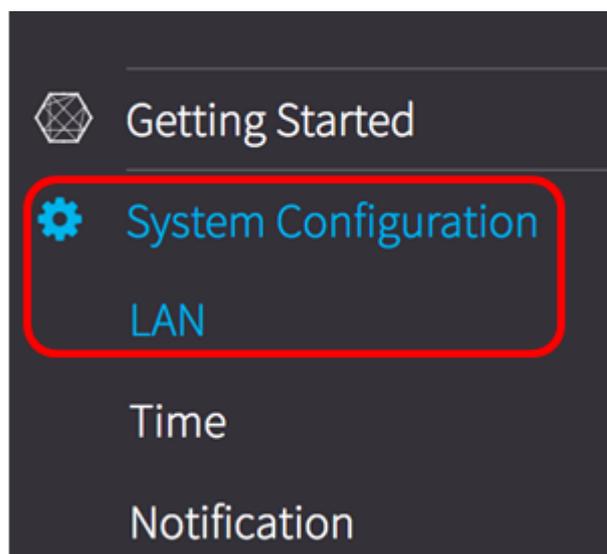
ステップ1: 表示されたフィールドにユーザ名とパスワードを入力してアクセスポイントのWebベースユーティリティにログインし、[ログイン]をクリックします。



The image shows the login interface for a Cisco Wireless Access Point. At the top is the Cisco logo. Below it, the text "Wireless Access Point" is centered. The login form consists of three main sections: a "Username" field, a "Password" field, and a language selection dropdown menu currently set to "English". A blue "Login" button is positioned below the form. At the bottom, there is a copyright notice: "©2017 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved. Cisco, the Cisco Logo, and Cisco Systems are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries."

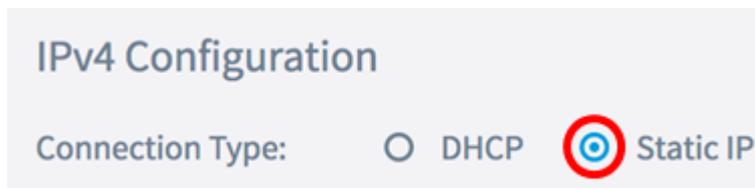
注：デフォルトのユーザ名/パスワードはcisco/ciscoです。

ステップ2:[System Configuration] > [LAN]を選択します。



ステップ3:[IPv4 Configuration]で、[Connection Type]のオプションボタンをクリックして、WAPがネットワークで使用する接続のタイプを選択します。次のオプションがあります。

- DHCP：このオプションを使用すると、WAPはネットワーク上のDHCPサーバからIP設定を取得できます。このオプションを選択した場合は、ステップ6に[進みます](#)。
- スタティックIP：このオプションを使用すると、WAPに手動でIP設定を割り当てることができます。このオプションを選択すると、[ドメインネームサーバ(Domain Name Servers)]の設定が自動的に[手動(Manual)]に設定されます。

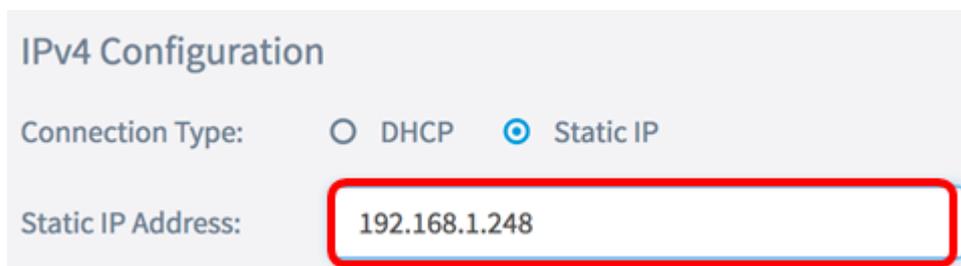


IPv4 Configuration

Connection Type: DHCP Static IP

注：この例では、[Static IP]が選択されています。

ステップ4:[静的IPアドレス]フィールドに、WAPの永続的なIPアドレスを入力します。このIPアドレスは一意である必要があり、ネットワーク内の他のデバイスでは使用できません。



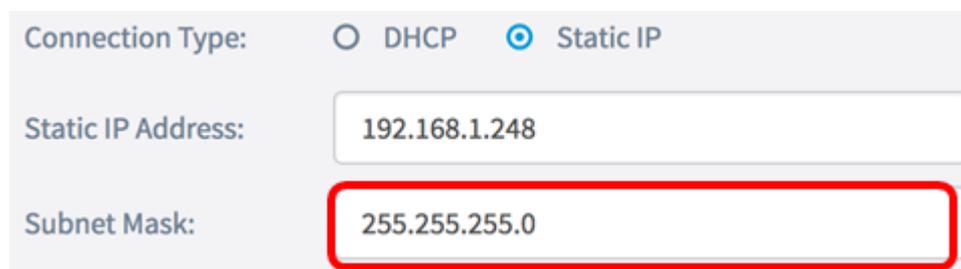
IPv4 Configuration

Connection Type: DHCP Static IP

Static IP Address:

注：この例では、192.168.1.248が使用されています。

ステップ5:[サブネットマスク]フィールドに、WAPのサブネットマスクを入力します。



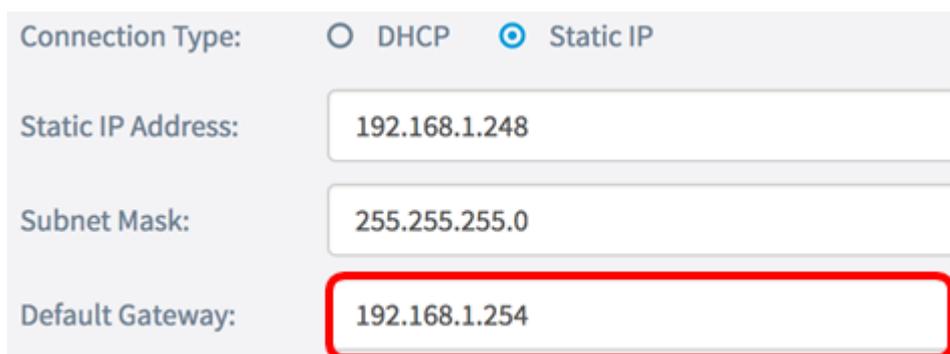
Connection Type: DHCP Static IP

Static IP Address:

Subnet Mask:

注：この例では、255.255.255.0が使用されています。

ステップ6:[Default Gateway] フィールドに、ネットワーク上のルータまたはDHCPサーバのIPアドレスを入力します。



Connection Type: DHCP Static IP

Static IP Address:

Subnet Mask:

Default Gateway:

注：この例では、192.168.1.254が使用されています。

ステップ7：ステップ2でDHCPを選択した場合は、オプションボタンを選択して、WAPが

ドメインネームサーバ(DNS)領域でDNSアドレスを取得する方法を設定します。次のオプションがあります。

- [Dynamic] : このオプションを使用すると、WAPはLAN上のDHCPサーバからDNSサーバアドレスを取得できます。このオプションを選択した場合は、ステップ8に[進みます](#)。
- [手動(Manual)] : このオプションを使用すると、DNSサーバアドレスを手動で設定できます。表示されるフィールドには、最大2つのアドレスを入力できます。

Domain Name Servers: Dynamic Manual

注：この例では、[Manual]が選択されています。

ステップ8：指定したフィールドにDNSサーバアドレスを入力します。

Domain Name Servers: Dynamic Manual

192.168.1.254

注：この例では、192.168.1.254が使用されています。

ステップ9：ボタンをクリック します。

これで、WAP125またはWAP581アクセスポイントのIPv4設定が正常に設定されました。

IPv6の設定

ステップ1:[IPv6 Configuration (IPv6の設定)]で、[IPv6 Connection Type (IPv6接続タイプ)]のオプションボタンをクリックして、WAPがネットワークで使用する接続のタイプを選択します。次のオプションがあります。

- DHCPv6 : このオプションを使用すると、WAPはネットワーク上のDHCPサーバからIPv6設定を取得できます。このオプションを選択した場合は、ステップ7に[進んでください](#)。
- スタティックIPv6 : このオプションを使用すると、WAPにIPv6設定を手動で割り当てることができます。このオプションを選択すると、[IPv6 Domain Name Servers]の設定が自動的に[Manual]に設定されます。

IPv6 Configuration

IPv6 Connection Type: DHCPv6 Static IPv6

注：この例では、[Static IPv6]が選択されています。

ステップ2: (オプション) アクセスポイントへのIPv6管理アクセスを許可するには、[IPv6管理モードを有効にする]チェックボックスをオンにします。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。

IPv6 Connection Type: DHCPv6 Static IPv6

IPv6 Administrative Mode: Enable

ステップ3: (オプション) **Enable** IPv6 Auto Configuration Administrative Modeチェックボックスをオンにします。これにより、WAPはLANポートで受信したルータアドバタイズメントを通じてIPv6設定を学習できます。

IPv6 Connection Type: DHCPv6 Static IPv6

IPv6 Administrative Mode: Enable

IPv6 Auto Configuration Administrative Mode: Enable

ステップ4:[静的IPv6アドレス]フィールドに、WAPの永続的IPアドレスを入力します。このIPアドレスは一意である必要があり、ネットワーク内の他のデバイスでは使用できません。

IPv6 Connection Type: DHCPv6 Static IPv6

IPv6 Administrative Mode: Enable

IPv6 Auto Configuration Administrative Mode: Enable

Static IPv6 Address:

注：この例では、2001:DB8:0:ABCD::1が使用されます。

ステップ5:[Static IPv6 Address Prefix Length]フィールドに、スタティックアドレスのプレフィクス長を入力します。プレフィクス長は、IPv6 IPアドレスのネットワーク部を指定し、範囲は0 ~ 128です。

IPv6 Administrative Mode: Enable

IPv6 Auto Configuration Administrative Mode: Enable

Static IPv6 Address:

Static IPv6 Address Prefix Length:

注：この例では、48 が使用されます。

ステップ6:[Default IPv6 Gateway]フィールドにデフォルトゲートウェイのIPv6アドレスを入力します。

IPv6 Link Local Address: fe80::2eb:d5ff:fe60:a60/64

Default IPv6 Gateway:

注：この例では、2001:DB8:0:0:E000::F/64が使用されます。IPv6リンクローカルアドレスは、ローカル物理リンクで使用されるアドレスです。このアドレスは設定できず、IPv6ネイ

バー探索プロセスを使用して割り当てられます。

ステップ7：ステップ1でDHCPv6を選択した場合は、オプションボタンを選択して、WAPがIPv6 Domain Name Servers領域でIPv6 DNSアドレスを取得する方法を設定します。次のオプションがあります。

- [Dynamic]：このオプションを使用すると、WAPはLAN上のDHCPサーバからDNSサーバアドレスを取得できます。このオプションを選択した場合は、ステップ9に[進んでください](#)。
- [手動(Manual)]：このオプションを使用すると、DNSサーバアドレスを手動で設定できます。表示されるフィールドには、最大2つのアドレスを入力できます。



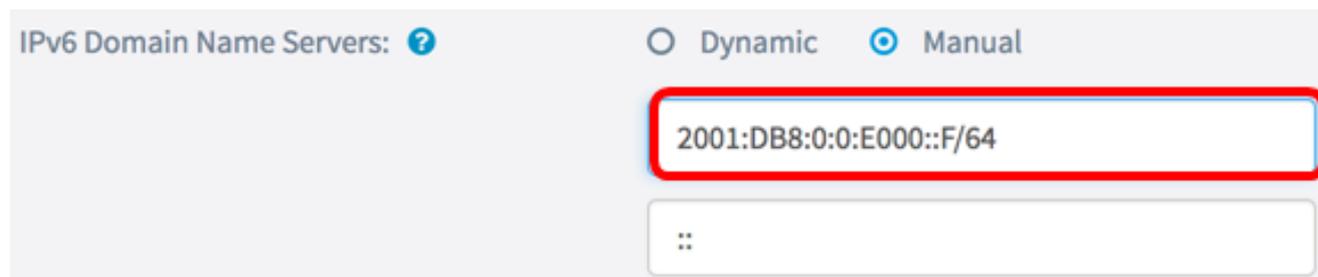
IPv6 Link Local Address: fe80::2eb:d5ff:fe60:a60/64

Default IPv6 Gateway: 2001:DB8:0:0:E000::F/64

IPv6 Domain Name Servers: Dynamic Manual

注：この例では、[Manual]が選択されています。

ステップ8：指定されたフィールドにIPv6 DNSサーバアドレスを入力します。



IPv6 Domain Name Servers: Dynamic Manual

2001:DB8:0:0:E000::F/64

::

注：この例では、2001:DB8:0:0:E000::F/64が使用されます。

ステップ9：ボタンをクリック  します。

これで、WAP125またはWAP581アクセスポイントでIPv6が正しく設定されたはずです。